

【 臨床研究に関する情報の公開 】

がん性疼痛で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する
ご協力のお願について

| 項 目 | 内 容 |
|--------------------|---|
| 1. 研究課題名 | 臨床における経皮吸収ジクロフェナクナトリウム貼付薬の使用状況と有用性の検討 |
| 2. 研究の対象者 | 2021年8月1日から2022年1月31日の間に、当院においてがん性疼痛の治療を受けられた方 |
| 3. 研究期間 | 令和4年年2月1日 ～ 令和5年12月31日 |
| 4. 研究実施体制と研究責任者 | 研究実施場所：関西電力病院 薬剤科 研究責任者：荒木 悠 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし |
| 5. 本研究の意義・目的 | がん性疼痛に適応を有する経皮吸収型非ステロイド性抗炎症薬であるジクロフェナクナトリウム貼付薬 が2021年5月に発売された。新規発売より実臨床における使用実態やその有用性について検討した報告は少ない。そこで、当院でのオピオイド鎮痛薬への追加投与薬としてのジクロフェナクナトリウム貼付薬の使用状況を調査したので報告し、実臨床電もがん性疼痛の治療に寄与できることを目的とします。 |
| 6. 研究の方法 | 2021年8月～2022年1月で、当院の入院患者を対象に、電子カルテを用いて後方視的に調査し解析します。 |
| 7. 研究に用いる試料・情報の種類 | 電子カルテから得られる臨床データ(年齢、性別、疾患名・病期などの病状、使用薬剤、薬剤の副作用発現)を用います。解析には個人を特定できる情報は使いません。 |
| 8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法 | 情報管理担章者が施設可能エリア内に設置した研究用パソコン内にデータとして保管・管理します。 廃棄については、研究発表後、5年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認します。 |
| 9. 個人情報の保護について | 情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。 |
| 10. 情報管理責任者 | 関西電力病院 薬剤科 荒木 悠 |
| 11. 問い合わせ・苦情等の窓口 | 〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 薬剤科 荒木 悠 電話：06-6458-5821 (代表) |